

道徳だより 第2学年

グッド*ハー Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年9月20日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもたちの様子を知ってもらおうと共に、お家での話題のきっかけにしてみたいと思います。

「おじいさん こんにちは」

2年生では、「挨拶」について考える学習をしました。主人公のふみおは、おつかいに行く前、出会った近所のおじいさんに、自分から元気よく挨拶をしました。おじいさんは、笑顔で挨拶を返してくれました。その上、おつかいにいくことを褒めてくださいました。数日後、ふみおは、お母さんから、おじいさんが、ふみおのことを褒めてくださっていたということを知ります。ふみおが挨拶をしたことで、ふみおも、おじいさんも、お母さんも嬉しい気持ちになったというお話です。

「挨拶は大切」ということは分かっているけれど、恥ずかしい気持ちがあって、「自分から元気な声でできない」という子どもたちが多くいます。このお話を通して、挨拶をして、気持ちのよい返事が返ってくると、相手も自分も良い気分になること、近所の人に褒めてもらったお母さん（お家の人）も良い気分になることに気付くことができました。

また、学習の後半には、気持ちのよい挨拶をして、良い挨拶が返って来る時、来ない時にどんな気持ちになるかを実際に体験してみました。また、参観に来ていた先生に、自分から気持ちの良い挨拶をしに行き、気持ちの良い挨拶を返してもらったりしました。

○近所の人に挨拶をする理由は？

- ・知らんぷりをしたら、気持ちが悪い。
- ・挨拶をした方が、気持ちが良いから。



- おじいさんと挨拶した後、おつかいをしているふみおは、どんな気持ちだったでしょう。
- ・どんどん楽しくなってくる。
 - ・褒めてもらえて嬉しい。
 - ・もっと色々な人にも挨拶をしよう。

- お母さんの話を聞いて、ふみおは、どんな気持ちになったでしょう。
- ・あいさつをして良かったな。
 - おじいさんも、お母さんも喜んでくれた！
 - ・買い物も楽しくなった。次も挨拶をしよう。



〈児童の感想より〉

私は、挨拶をたまにしかしないけれど、今度は、大きな声で挨拶をしたいと思います。

挨拶をすると、気持ちがよくなるから、色々な人に挨拶をしようと思いました。相手が言う前に挨拶をしたいです。

自分から挨拶をすると、相手も嬉しくなるし、自分も嬉しくなるから、挨拶は大事ななあと思いました。

最後に先生に挨拶をして、とても気持ちがよくなりました。言う前は恥ずかしかったけれど、1回でも言う、もっと挨拶をしたくなります。